

令和5年度自己評価結果公表シート

作成 寝屋川幼稚園

1、本園の教育方針・教育目標

個性豊かでお友達と仲良くできる 健康な心の優しい子どもに育てる。

○健康な体から豊かな心を育てる

○音楽を通して情操豊かな優しい心を育てる

○個々の可能性をいろいろな経験により引き出す

2、令和5年度、重点的に取り組む目標・計画

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の位置付けが変更となり対応が著しく変更されました。当初は、職員間で戸惑いがありましたが、感染前の規制がない日常に戻すべく取り組む。

行事の在り方を考え人数制限・健康面の規制を無くしていく。又、日常の保育風景を見て頂く参観日の復活に取り組む。

新制度の幼稚園に移行を踏まえた準備として教職員の拡充を行って行く。

本年度の職員間の取り組みとして 保育を笑顔と和合で行う 挨拶の徹底 整理・整頓・清掃を心掛けいつもきれいな保育室作りを掲げ取り組む。

施設内の安全確認を行い随時、修理・修繕を行う。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
新型コロナウイルス感染症について	感染症の位置付けが変更となりましたが、職員間・そして保護者の方も戸惑いがありマスク着用はご家庭の判断としました。園内では、パーテーションは撤去しましたが、食事の際の手の消毒は、引き続き行いました。
新たな感染症予防について	感染症予防（マスク着用等）が無くなりましたが、病気に対する抵抗力の低下が懸念されます。そこで、新たな感染症が流行しない様、教室内を放課後決められた消毒液で引き続き消毒を行う・給食前の

	手の消毒等引き続きの予防対策を行う。
行事について	昨年度まで行ってきた感染対策としての三蜜がかけられない行事＜遠足・参観・運動会・発表会＞を本年度より多少の制限を設け開催した。
新制度幼稚園に向けての取り組み	寝屋川市の＜子ども・子育て＞会議に市幼稚園連合会の代表として参加し子育て支援事業計画の実動に向けて取り組む。 移行における課題とされる教職員の増員に向け取り組む。又令和6年度に新制度の幼稚園に移行すべく寝屋川市関係部局との折衝を行った。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

5月より順次、感染予防対策を撤廃して参りましたが、全園児参加の行事では、保護者の人数制限や分散参加をお願いし実施しました。規制を廃止・人数制限を行わない以前の様な行事を行うべく取り組んで参ります。又、保育参観も一部中止した部分も次年度より行って参ります。 新制度の幼稚園に移行すべく市の関係部局と折衝を行って参りましたが、保育者の人数面が規定に至らず来年度以降に移行して参ります。 例年通りの行事が出来きれないが部分もありましたが、子ども達の思い出作りを職員一同最大限の努力と保護者の皆様のご理解を頂き令和5年度も保育を行う事が出来ました。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
新制度の幼稚園に向けて	新制度の施設型給付園の移行に向け市より昨年度、指摘頂いた教職員数の増員に向け取り組む。 又、移行した場合の運営面を学んで行く。
教職員の充実について	幼稚園の先生を目指す学生が少なくなっている中働きやすい職場づくりに努める。又、退職者の再雇用を本年度も行いましたが次年度以降も積極的に取り組んで行く。

満3歳児保育について	昨年度より満三歳保育を行って参りました。希望されるご家庭が多く本年度は定員を増やさせて頂きました。引き続き来年度以降も満三歳保育の充実に取り組んで参ります。
低年齢化に伴う施設整備について	今までお預かりしていなかった満三歳保育を行って行くに当たり教室内の整備・トイレその他の整備に取り組んで行く。

6、令和5年度 学校関係者の評価

教育の場が損なわれる事が無い様、その時その時に応じた対策を徹底し、未来ある子ども達の将来に向ける土台づくりに取り組んで頂きたい。 幼保連携型認定こども園に移行する準備として満3歳児保育を積極的に行い、前段階として施設型給付を頂く園に移行して下さい。又、人材不足を打開する為に再就職や派遣など色々な工夫を行うと共に現在おられる先生方の負担を軽減し教職員数を増やして頂きたい。 伝統をまもり保育の質の向上・施設のより良き環境整備に努めて頂きたい。 その他 特に指摘する所はありません。
--

7、財務状況

指吸会計事務所及び清稜監査法人により、適正に運営されていると認められている。
--